

「自律」

黒木中だより 第13号

令和5年12月4日



八女市立黒木中学校

八女市黒木町北木屋60

☎ 0943-42-0109

編集責任者 山口 繁喜

「銀杏 (いちょう)」花言葉は「長寿」「荘厳」「鎮魂」です。イチョウは大きく育ち、長生きするので「長寿」、また、神社やお寺のご神木になっていることも多いことから「荘厳」や「鎮魂」という花言葉が付けられました。

約2億年前から存在する「生きた化石」と呼ばれる植物で、太古の昔には世界中で自生していたと考えられています。しかし、現存するのは中国原産の1種類のみで絶滅危惧種に指定されています。

イチョウの木の実に包まれた種 (銀杏 (ギンナ)) は非常に美味です。硬い殻に覆われていて「強烈な香り」の実を取り除いた後も一苦勞が待っているのですが、そこまでしても食べたい魅力があるようです。ただ、食べ過ぎには注意した方が良さそうです。

イチョウの木を眺めながら、宮沢賢治の童話「いちょうの実」でも堪能してはいかがでしょうか。『そらのてっぺんなんか冷たくて冷たくて・・・いちょうの実はみんな一度に目をさました。・・・』

筑後地区新人大会

11月18日に筑後広域公園体育館で筑後地区新人卓球大会に男子卓球部が出場しました。実力が伯仲する中、一球一球を大切にプレーしていました。その結果、準優勝し2月の県大会出場を決めました。



薬物乱用防止教室

11月20日に福岡県警の少年サポートセンターより講師を招き薬物乱用防止教室を実施しました。身近に迫っている大麻などすべての薬物は強い依存性があり、脳にダメージを与えることを脳の断面図写真で説明があり、「NO!と言えることがあなたを救う」と強調されました。また、SNSについての危険性やルールの大切さについての話もありました。



福岡県産の柿を使った調理実習

福岡県農林水産部食の安全・地産地消課より、「次世代を担う生徒を対象に、教材として県産果実 (柿) を、調理実習等で皮むきの体験をすることで、県産果実 (柿) の美味しさに親しんでもらう」ことを目的として無償提供いただきました。2年生の家庭科の時間に、「柿を使った柔



らかクッキー」づくりに挑戦しました。柿の皮むきでは、初めて包丁を持っているような生徒もいましたが、周りの人から学びながら柿の皮むきを無事終え、おいしいクッキーを焼き上げました。

地域行事でのボランティア

11月5日の「八女くろぎふるさと祭り」、11月19日の「だってん祭」、11月27日の「茶のくに八女ハーフマラソン」に黒木中からボランティアとして参加しました。駐車場での車の誘導、案内、お茶の準備など、訪れた方が気持ちよく楽しめるようにと笑顔で接していました。延べ40名を超える生徒のボランティアで地域が活性化しました。



社会見学

11月22日に3年生は九州国立博物館と太宰府天満宮へ行きました。博物館では普段入ることができない博物館の裏側のバックヤードをめぐり、文化財を守る大切さを、免震層や収蔵庫、文化財保存修復施設の見学を通し体感しました。また、特別展「古代メキシコ」では、3千年以上にわたり繁栄したメキシコの古代文明の「マヤ」「アステカ」「テオティワカン」という代表的な3つの文明の多彩な出土品約140件を見学しました。普遍的な神と自然への祈り、そして多様な環境から生み出された独自の世界観と造形美を通して、古代メキシコ文明の奥深さと魅力に触れることができました。天満宮では、進路実現への神頼みを行いました。



お茶の淹れ方教室

11月28日に、1年生で実施しました。八女市の地産地消推進協議会よりGTとして来ていただき、八女茶の歴史、お茶の効能や生産農家の働き、おいしいお茶の淹れ方などの講話を聴きました。そして、実際に各自お茶を淹れ、試飲しました。この体験を通して、お茶の淹れ方の基礎を身に付けると共に八女茶のよさを学ぶことができました。



☆ 保護者の皆さまへ ☆

前号と本号の黒木中だよりで紹介したように、11月は様々な行事が目白押し状態でした。ぜひ家庭でも、これらの行事を話題に話を広げていただけたらと思います。

また、11月中旬からインフルエンザや風邪が本校でも広がっています。脱マスク生活と変化し、そして、人流が活発化したことにより様々なウイルスに接しています。体調の変化を感じたら早めに病院を受診してください。また、欠席等の連絡はリーパーの活用もお願いします。